（令和２年）

ごあいさつ

野木町長
真瀬　宏子

新年あけましておめでとうございます。令和２年、新元号となってはじめての新春を穏やかに迎えられたこととお喜び申し上げます。今年も皆様にとりまして、素晴らしい年となりますようにお祈り申し上げます。また、皆様がさらにこの町で幸せを実感できる年となりますように、心から願っております。

昨年は地球温暖化のせいか、各地で大きな自然災害が続きましたが、本町にも台風第19号が襲来しました。野木町では多少農産物被害は出たものの、大きな被害もなく終わりました。これも町民の皆様および関係機関のご協力のお陰と感謝しております。町では義援金募金や復興ボランティアにおいて、多くの町民の皆様のご協力をいただきました。優しい皆様の気持ちが、被災された方々に届き、私のところにお礼の言葉が何度も寄せられておりますことをお伝えいたします。被災された方々におかれましては、現在も対応に追われていらっしゃると思いますので、一日も早い復興を望むばかりです。

誰もが暮らしやすい「協働のまちづくり」

現在、町では「子育てしやすく住みやすいまち」をモットーに、特に子育て世代の移住定住に力を入れています。昨年の民間調査機関の報告によりますと、野木町が「本当に魅力ある自治体」として、県内市町の中で第一位となりました。特に教育分野では全国第15位にランク付けられました。

魅力的な町づくりで県内第一位は、大いに自慢できることですので、今後も暮らしやすさとあわせて、町の魅力を発信してまいります。

この輝きをさらに強くするためにも、安全・安心のまちづくり、少子高齢化対策、町の活性化策には力を入れて、誰もが暮らしやすい環境を整えていきたいと思います。

まちづくりの理念は何といっても「協働のまちづくり」が基本ですので、町民の皆様としっかりとした協力体制をつくって進んでいきたいと思います。

スポーツが繋ぐ「ワンチーム・野木」

7月にはオリンピック・パラリンピックが開催されます。みんなで力を合わせて町へお越しになるお客様をおもてなしし、野木町駅伝競走、フラワーカーペット、ひまわりフェスティバル、煉瓦窯周辺フェスタ等、様々なイベントを通してオリンピックの年を盛り上げていきたいと思います。

さらに、令和3年には「いちご一会とちぎ国体」が開催されます。野木町も競技開催地として、益々にぎやかさを増すことと期待しております。

未来へ「持続可能な野木町」

また、読書の町宣言をした野木町としても、文化の薫り高い町の推進を図り、皆様の文化活動が活発に行えますよう配慮してまいります。

本年は「第8次野木町総合計画」の後期に移行する大事な転換期として、町の未来に皆様の夢が描ける持続可能な野木町となりますように計画を作ってまいります。そして引き続き「小さくてもキラリと光る」自治体として「小さくても暮らしやすい町」を尚一層発展させてまいります。

皆様の夢が実現に向かいますことを願いますとともに、ご健勝ご多幸を心よりお祈りいたしております。

本年も町政への変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

2020年 新年の

野木町議会議長
黒川　広

あけましておめでとうございます。町議会を代表しまして一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方には、希望に満ちた輝かしい新春を健やかにお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、本町の町政運営ならびに議会活動に対しまして皆様の温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、改元が行われ平成から令和の御代に代わり、皆様も気持ち新たに新元号である令和時代をお迎えし、一年をお過ごしされたこととおもいます。

一方、昨年は、台風や豪雨等による災害が全国で発生した一年でもありました。幸いに我が町では、農産品に一部影響があったものの大規模な被害に遭わずにすみました。あらためてここに被害に遭われた方々に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

さて、現在の我が国を取り巻く環境は、少子高齢化の益々の進行、国際情勢の急激な変化などの状況下、地方の景気は緩やかに回復しているといわれておりますが、昨年10月に消費税が10パーセントに引き上げられたこともあり、今後の経済にどのような影響がでるのか一抹の不安があるといわれております。

このような中で今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されることになっており、大勢の訪日客がお越しになるかと想われます。例年になくインバウンド効果による経済への波及効果が期待されるところでもあり、明るい材料もあるように感じます。

現在、我が町においては、少子高齢化による人口減少に対応すべく「野木町総合戦略」を策定し、「小さくてもキラリと光るまち」、「安全・安心のまちづくり」に向け鋭意取り組んでいるところであります。

令和元年度は「総合戦略」の最終年度にあたり、令和2年度は、その総合戦略の取り組みの成果や課題等を検証・見直しし、更なる展開に向け、次のステージにおける総合戦略に取り組むことになりますので、議会としても積極的に意見提起等を行っていきたいと思っています。

また一方、財源確保に向け企業誘致等の取り組みを推進しているところでありますが、今後一層進展する高齢化に伴う扶助費の増加並びに今後想定される各種の公共施設・公共設備の更新等を考え合わせると、将来を見通ししたとき、決して財政状況は余裕がある状況にあるとは思えません。

執行機関、議会共に、一層の効率的な予算執行の意識が求められるところであります。

町議会としましても、議員一人ひとりが町民の皆様のニーズをしっかりと汲み上げ、真に必要かつ効果的な施策を町政に反映させることで、二元代表制の一翼を担う機関としての責務を果たし、皆様と一体となった住みよいまちづくり、持続可能なまちづくりに邁進したいと考えております。

本年も全議員が一丸となり、野木町の豊かな町政運営の実現と町勢の発展に尽くしてまいりますので、さらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして、新春のご挨拶とさせていただきます。